

花を長く咲かせる

花いっぱい運動（秋配付）

ビオラとアリッサムの育て方

ビオラ、アリッサムともに、少し手入れを工夫するだけで、春まで花壇を彩ることができます。いつもの作業「プラスα」で、四季を通して美しい花壇づくりにチャレンジしてみましょう。

土作り

深さおよそ30cmまでの土をよく耕し、石や雑草などを取り除きます。

次に、苦土石灰を1㎡につき100gほど（土の表面が薄く白くなる程度）を与え、表面の土から約20cmの土とよく混ぜます。1週間以上たってから完熟した堆肥や腐葉土などの有機物を1㎡あたり2～3kg程度、クワで耕します。

また、元肥として化成肥料または配合肥料を1㎡あたり100gほど与え軽く混ぜておきます。

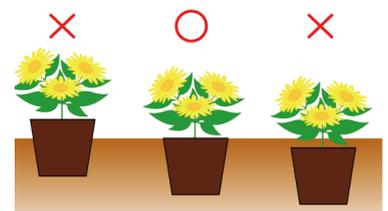
育て方



ビオラ スミレ科スミレ属

- 【植付け】多肥を好むので元肥として緩効性肥料を充分施しましょう。花壇には、15～20cm間隔で植えます。根が詰まっている場合は、軽くほぐしてから植えましょう。

【植え付けの深さ】



- 【管理】開花中は肥料切れにならないよう、窒素分の少ない肥料を20日に1回ほど、1㎡あたり2握り程度与えましょう。
※パンジー、ビオラ用肥料というものも市販されています。

また、咲き終わった花柄は、早めに摘み取ると次々に開花します。

ナメクジ、アブラムシが付きやすいので、こまめな花柄摘みで風通しを良くし、害虫が付いてしまったら殺虫剤などで早めに対処しましょう。

※市販のキンチョールなどでも効果有！



アリッサム アブラナ科ニワナズナ属

- 【植付け】植付け時に元肥（緩効性肥料）を施すと、春までたくさん花を咲かせます。このようにカーペット状に広がり、花壇の縁どりやグランドカバーに適しているので、開花期の花壇デザインをイメージしながら、30cmほど間隔を取って植えましょう。

- 【管理】花数が減ったように感じたら置き肥を追肥します。窒素が多すぎると花つきが悪くなるので、生育状況に合わせて加減しましょう。花が咲いて茎が間延びしてきたら、葉の上で花を切りとると、次々に花をつけます。春の開花後、株にボリュームが出て形が崩れてきたら、草丈の半分ほどに刈り込むと秋にも開花します。

～ワンポイントアドバイス～

ビオラとアリッサムを長く楽しむために大切なのは… **花柄摘み！！**

咲き終わった花柄をそのままにしておくと、種を作ることにエネルギーを費やし、株が弱ってしまいます。また、株の蒸れや害虫の住処となることを防ぎ、病気の予防にも繋がるため、花柄摘みをするのとしらないのでは、花数と開花期間にかなりの差が出ます。

花柄をどんどん摘んで、春まで株を持たせましょう！